

会 議 録

会議の名称	令和5年度第2回戸田市中心企業振興会議
開催日時	令和5年10月16日(月) 午後2時～午後4時
開催場所	戸田市役所 5階 501会議室
会長氏名	結城剛志
出席者氏名 (委員)	金子秀一、徳永光昭、富岡聡子、丹野一城、黒井英樹、 松浦睦子、松井千依、今井祐之、安田裕美
欠席者氏名 (委員)	土肥悦子、廣瀬倫理、高橋一能
説明のため出席した者	戸田市商工会事務局 入江次長
事務局	香林部長、野崎室長、谷島担当課長、柄澤主幹、本田副主幹、吉崎主事
議題	(1) 委嘱状交付 (2) 戸田市中心企業振興条例及び本会議の概要について等
会議結果	会議録のとおり
会議の経過	会議録のとおり
会議資料	別紙のとおり
その他	傍聴人なし 松浦委員については、オンラインでの参加
議事録確定	令和5年11月15日

事務局	定刻となったので、只今から、戸田市中心企業振興会議委員委嘱状交付式を始めさせていただきます。 本日はご多用のところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。 それでは委嘱状の交付を行う。交付にあたり、皆様のお名前を順番に読み上げるので、呼ばれた方は、前へお越しいただきたい。 市長、よろしく願いいたします。
市長	(市長から委員へ1人ずつ交付していただく。)
事務局	市長から、一言ご挨拶をいただきたい。
市長	(市長より挨拶)
事務局	以上をもって、委嘱状の交付式を終了とさせていただきます。 市長は公務の都合があるため、ここで退席する。
市長	(退席)

事務局	<p>只今から、令和5年度第2回戸田市中心企業振興会議を開会させていただく。</p> <p>本日の中小企業振興会議の事務局は、環境経済部部長の「香林」、経済戦略室長の「野崎」、担当課長の「谷島」、経済企画担当の「柄澤」「本田」と「吉崎」の6名で務める。</p>
事務局	<p>まずは、配布資料の確認をする。</p> <p>資料を11点配布している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 経済戦略プラン(冊子) 2) 「戸田市中心企業振興会議」【会議資料】 3) TODA産業レポート2023-7月(A4白黒) 4) 景気動向調査 調査結果 2023-7月(A4カラー) 5) 産業別特化係数(A4横) 6) 【施策検討用】分析結果に係る既存施策及び対応策の考察(A3カラー) 7) 戸田市支援制度のご案内(冊子) 8) (中小企業振興会議)令和5年度の運営方針(案) 9) 中小企業振興会議経過等(A4白黒) 10) 戸田市就労状況アンケート調査結果 11) 第7期戸田市中心企業振興会議委員名簿(A4白黒) <p>資料について、不足等ないか。</p>
事務局	<p>(*委員出席状況について報告)</p> <p>本日の委員出席状況は、土肥委員、廣瀬委員、高橋委員から欠席の連絡を受けており、委員13人中10名が出席している。また松浦委員については、オンラインでの参加となる。</p> <p>戸田市中心企業振興会議規則第5条第3項で定める半数以上の出席であり、会議は成立することを報告する。</p> <p>それでは、本日の流れに従い進めさせていただく。</p>
事務局	<p>まず、「中小企業振興会議について」事務局から説明する。</p>
事務局	<p>事務局から説明</p>
事務局	<p>それでは次に、自己紹介に移らせていただく。委員名簿を配布している。再任された委員もいるが、改めて、自己紹介をお願いしたい。金子委員から順番にお願いします。</p>
事務局	<p>(13名の委員の自己紹介)</p>
金子委員	<p>商工会では幹事をしている。酒屋と米屋で、ここから直線距離にして約200メートルくらい行ったところで商売をしている。</p>

事務局	次に、徳永光昭様。
徳永委員	<p>戸田駅から、南に行った交差点の角にある大同機工という会社の代表をしている。そこで仕事をしているが、大同という会社は世の中には結構たくさんあり、大会社と勘違いされるが、実際にはどこの会社の系列でもなくて、中小企業である。</p> <p>主な製品は、水に関係する製品が多いが、水門を作っている。</p> <p>平たく言うと、大きくて重たくて固いものを作っている。水門というのは大雨の時、災害から人々を生命とか財産を守るもので、大変役に立っている。</p> <p>昔は本社の道路を隔てた、反対側に工場があったが、今は、12年前だったか移転して、本庄市の方に工場がある。</p> <p>地元には本社があるが、戸田市の仕事はあんまりやっていなくて、お客さんは官公庁が多い。埼玉県内だと、売り上げは20%くらいで、県外の仕事が多い。</p> <p>ニッチの世界で仕事をしており、見ている世界が非常に狭いので、期待に添うような意見が出せないかもしれないが、よろしくお願ひしたい。</p>
事務局	続いて、富岡様お願ひする。
富岡委員	<p>現在、青年部の方では副部長を務めさせていただいている。私は市内で4ヶ所、学童保育室を経営している。中小企業分野は私もそこまで明るくはないが、子どもたちの未来に向けて何か出来る事があればと思っている。</p>
事務局	続いて丹野様お願ひする。
丹野委員	<p>事業は、中小企業の経営計画の策定支援の事業と実行の支援の事業、保険の付帯事業を行っている。振興会議は前期に続き2期目となるので、今期はいろいろな意見を積極的に出していきたい。</p>
事務局	続いて黒井様お願ひする。

黒井委員	<p>今期から、埼玉中小企業家同友会の戸田・蕨支部の吉田氏から変更となった。会社は、戸田市で70年続くニッケングループホールディングスといい、建設業と不動産業を行っているホールディングス事業の、本部に所属している。同友会でのいろんな意見や建設業の本当にリアルな話などを、いろんな形で伝えられればと思っている。</p>
事務局	<p>続いて結城様お願いする。</p>
結城委員	<p>前期から続き2期目の参加になる。私は銀行と金融政策を専門的に研究しており、今は物価と為替が問題だなと考えている。</p> <p>2000年代に、戸田市で戸田オールというのが実施されていたころには、地域通貨ブームが全国であり、2000年代は地域通貨の研究をしていた。そういう事もあり、今年実施されている、トダペイ、今は電子地域商品券と呼ばれているようだが、電子地域商品券の実態については、かなり関心を持っている。</p>
事務局	<p>続いて安田様お願いする。</p>
安田委員	<p>中小企業診断士として、中小企業の皆さんの相談を受けて、新しい事業を開発したり、戸田市の商工会の方でオレンジキューブ、起業支援施設センターのマネージャーをさせていただいている。</p>
事務局	<p>続いて松浦様。</p>
松浦委員	<p>中小企業診断士として、戸田市とは安田先生の前任という事で、インキュベーションセンターという施設の方でマネージャーをやっていた。現在も引き続き、小規模、創業者の支援を、寄り添う形で支援を続けている。今回2期目となる。</p>
事務局	<p>続いて松井様お願いする。</p>

松井委員	<p>埼玉県の出先機関という事になるが、南部地域振興センターの副所長をしている。当センターの所管が、川口市、戸田市、蕨市である。今回は、産業労働の分野として参加している。それ以外にNPO法人、地域で活動している方の支援、市の補助金の業務を手伝っている。できる限り県の労働、産業労働施策についても情報提供できるように努力したい。</p>
事務局	<p>それでは最後になるが、今井様よろしく願います。</p>
今井委員	<p>今回の会議から委員として参加する事になった。日本政策金融公庫は中小企業の資金面での支援が主ではあるが、中小企業は、様々な課題がある。以前から起業に関する支援もそうだが、事業承継とか、融資以外の部分の情報提供なども行っている。この会議を通じて、公庫の取組なども伝え、少しでも戸田市の中小企業施策に役立てればと思う。</p>
事務局	<p>続いて、「会長の選出及び副会長の指名」である。 戸田市中心企業振興会議規則第4条の規定により、会長は、委員の互選により選出し、副会長は会長が指名することとなっている。 会長の選出について、どなたかご意見はあるか。</p>
委員	<p>前期の実績をふまえて、結城委員はいかがか。 (委員からの会長の推薦あり)</p>
事務局	<p>ただいま、結城委員に会長をお願いしたいとのご意見があった。 他にご意見はあるか。</p>
委員	<p>異議なし</p>
事務局	<p>それでは、結城委員が会長をお願いします。結城委員、会長席へ移っていただきたい。 また、結城会長から一言挨拶をいただきたい。</p>
結城会長 (挨拶)	<p>先ほど市長から話があったように、この会議に求められている事は、ニーズに合った持続可能な企業経営の支援、そのために市とのコミュニケーションを深めていく事、意見を伝えていく事だと思う。皆の意見を聞きながら、議事の進行を務めたい。 また、議事の運営について、注文等があれば遠慮なく指摘してほしい。</p>

事務局	<p>それでは引き続き、副会長の指名に移らせていただく。</p> <p>戸田市中小企業振興会議規則第4条の規定により、副会長は会長が指名することとなっている。</p> <p>結城会長、ご指名をお願いします。</p>
結城会長	<p>中小企業診断士の経験のある安田委員に力をお借りしたいと考えているがいか</p> <p>がが。</p>
事務局	<p>安田委員、よろしいか。</p> <p>それでは、安田副会長から一言ご挨拶をいただきたい。</p>
安田副会長	<p>(挨拶)</p>
事務局	<p>ありがとうございました。ここからの進行は、戸田市中小企業振興会議規則第5条第2項の規定により、結城会長に議長をお願いします。</p>
結城会長	<p>議題に入る前に、事務局から戸田市商工会事務局職員の出席について、説明願</p> <p>う。</p>
事務局	<p>戸田市中小企業振興会議規則第5条に関連し説明する。</p> <p>戸田市商工会事務局職員について、戸田市中小企業振興会議規則第5条第5項の規定において、「議長が必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を求めることができる。」とされている。本会議は第3期の途中から、議長が認めるところにより、会議に出席している。</p> <p>これは、中小企業振興会議の所管事項である中小企業振興策の調査研究を行い、今後の産業振興を進めていくうえで、市内の中小企業支援を最前線で行う商工会事務局の意見を求める目的によるものである。第7期においても、引き続き戸田市商工会事務局職員を本会議に出席いただくことについて、ご審議いただきたい。なお、ご承認いただければ、この後の議事より商工会事務局職員に会議にご出席いただきたいと思いますと考えている。</p>
結城会長	<p>市内の中小企業支援という観点からも、第7期においても戸田市商工会事務局職員を当会議に出席させることとし、中小企業振興策等について意見を求めることとしたいが、いかがか。</p>
委員	<p>(異議なし)。</p>
事務局	<p>それでは、戸田市商工会事務局の入江様にお越しいただいておりますので、一言ご挨拶をお願いします。</p>
商工会 (入江様)	<p>委員の名簿を見たところ、顔なじみの方ばかりである。商工会としてバックアップをしたいと考えている。</p>
結城会長	<p>それでは、「戸田市の現在地 現状と課題」について事務局から説明願う。</p>

事務局	<p>「戸田市現在地 現状と課題」について」事務局より説明 景気動向調査結果の詳細説明と市の施策を関連づけ説明</p>
事務局	<p>まずは、景気動向調査の概要に対する業種別考察と市の施策の対応状況を説明させていただきます。</p> <p>資料A3サイズのカラー刷りのものをお手元にご用意いただきたい。</p> <p>こちらの資料は今回の調査結果を受けて戸田市の方でも初めて作成したものである。市内企業を取り巻く状況を考察した上で、経済戦略室が現在対応している施策または今後このような事が考えられる施策を当て込み、戦略室が未対応となっている分野や施策等の現状を俯瞰してみるための資料である。</p> <p>表の左側から、DIの推移を記載し、今回の調査、直近の報告したものは7月の調査になる。前年の2022年7月、その後に行われた2023年1月、そして今回の2023年7月の調査からDIの推移を見られるようにし、真ん中の項目は、各業界を取り巻く社会的要因の考察とそれらに関連するキーワードの抜き出し、右欄には、それらに対する市の既存施策や考えられる施策を記載している。</p>
事務局	<p>市の既存施策について、特に補助金については、別で配布してある「戸田市支援制度のご案内」に概要が掲載してある。併せて参考としてご覧いただきたい。</p>
事務局	<p>全ての業種に対する考察を説明する時間がないため、いくつか絞って説明させていただきます。</p> <p>令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行された事による経済活動の動き出しが要因ではないかと思われるが、依然としてコロナの影響に苦しむ企業も多く、また原材料の高騰、ゼロゼロ融資の返済開始に伴う資金繰り、雇用、労働力不足問題など企業を取り巻く不安要素が多くあるため、先行きについては再び悪化する見通しデータ結果となっている。</p> <p>これらに対応すべく市がとっている施策は右欄のとおりとなっている。</p> <p>実際に関連キーワードの隣にそれぞれのキーワードに対応する既存の施策を並べてみて、どのような対応状況になっているかというところを考えている。赤い四角で困っているのが、現状なかなか経済戦略室として手をつけられていない分野となっている。こちらの方は後ほど説明をさせていただきます。</p>

	<p>既存施策の中の「DXの推進」、「プレミアム付き商品券」、「SDGs」これらの3つが市長公約として戦略室が主に力を入れて手掛けている分野である。</p> <p>また、市長公約とは別に3大プロジェクトというものがあり、シニアの雇用に対する対応も経済戦略室の所管となっている。</p> <p>続いて業種別の説明に入らせていただく。</p> <p>時間の都合上「建設業」「卸、小売業」「運輸業」の3点だけに絞って説明させていただきます。</p> <p>まずは建設業。2024年問題は特に物流業界がフォーカスされがちだが、建設業も同様の課題を抱えている。</p> <p>2019年4月1日に施行されている「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律案」において、建設業では運輸業と同じく、一部の働き方改革関連法案の適用に5年間の猶予期間が設けられている。</p>
事務局	<p>その背景には、建設業界の高齢化や、労働人口の減少に伴う人材不足で長時間労働が常態化しているといった労働環境問題の課題がある。</p> <p>これらの問題解決は短期間では難しい点を考慮し、建設業では働き方改革関連法の適用が5年後の2024年4月に延期されていたが、ついに来年と期日がせまってきたところである。</p> <p>資料中の建設業のDI推移をみると、前年よりも改善に向かっており、今後の見通しも改善に向かっているが、特に職人の人材不足が見込まれる事を考えると、仮に景気がよくこの先の受注があったとしても職人を確保できるかできないかで、大きく景況感も変わってくるのではないかと考えている。</p> <p>今期より、ニッケンホールディングスの黒井様が委員を務めていただいているので、この先の会議において建設業が抱える課題等の現場のリアルなご意見をいただければと考えている。</p>
事務局	<p>右側の既存施策において、今後はどのように雇用というところで職人を確保していくのかという点で、例えば業種を絞った企業合同説明会なども視野に考えていかなければならないと考えている。</p> <p>建設業の説明は以上である。</p> <p>続いて、「卸売、小売業」について説明する。卸売と小売業、運輸業ですが、赤四角で困っているのは、この先の見通しの悪化具合が一番ひどかった結果に対する説明となっている。まず、卸、小売はコロナ明けにより、数字は回復したが、この先の見通しが顕著に悪化している。価格転嫁が難しい業界と思われる。市の施策としては、昨年度は「PayPay」によるポイント還元事業。今年度は「プレミアム付電子商品券」事業を実施し、消費活性化を試みているが、いずれもスマホ所有者が利用できるものであるため、高齢者などのスマホを持たない世代からの厳しいお声をいただいているところである。要するに利用したいけど出来ない方に対してどうするのかというところがなかなか厳しいところである。</p>

事務局	<p>続きまして、「運輸業」の説明に入らせていただく。本市の地場産業である運輸業は、資料の下部に参考にあるとおり、県南の中でも事業者割合が多くなっている。戸田市の地の利を活かした産業であり、首都高が近くにあることから運送業が発展しやすい。本市としても地場産業を守っていく立場にあることから、今後、どのような施策を立案し、継続的な支援をしていくのか、非常に苦慮しているところである。これで、景気動向調査の結果に係る分析と施策の考察について説明を終わりにする。</p>
結城会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局からの説明に対し、質問・意見等あるか。</p> <p>今説明があった内容で戸田市の全体的な経済状況を、認識してもらえたと思う。</p> <p>始めに私が簡単に感想を述べると、戸田市はかなり人口構成には恵まれている自治体なのだと感じた。</p> <p>非常に全国的な状況から見ると若い人が多い、めずらしい自治体に映った。</p> <p>それから、後半は事業者の方々の悩みが書いてあり、収益性を上げたい、人材を確保したい、それから事業承継についても「人材確保」という事が課題として挙げられたと思う。</p>
結城会長	<p>最後、戸田市の施策について説明があったが、こちらについては前期も説明いただいて非常に驚いたのだが、公金の不交付団体ならではなのかと思う。市として経済政策をこれだけやっている自治体というのはなかなかないと思う。事業者のためにこういう事もしてくれる自治体なのだと感じる。</p> <p>これまでやってきた既存の施策に加えて似た分野をさらに拡張している、さらにこれまでの施策をニーズに応じた、或いはコロナ以降の経済情勢に応じたよりきめ細やかな施策に変換していくにはどうしたらいいかという事を、意見としてもらえれば幸いかと思っている。</p> <p>私の個人的な感想でいうと、価格転嫁支援は市がやらなければいけない一番喫緊な課題ではあるが、できれば国に為替政策の見直しや支援をお願いするレベルの話と感じた。感想は以上である。</p> <p>では今の事務局の説明に対して、確認したい事や意見、質問があれば自由に発言をお願いします。</p> <p>この機会に遠慮なくなんでも聞いてほしい。</p>

丹野委員	<p>今説明いただいた縦長の用紙だが、建設業のところでは吉田さんのコメントが書いてあり、その右側に合同説明会というのと、その下に職場見学ツアー（教育委員会と連携）とあるが、教育委員会と連携している職場見学ツアーというのは、対象は小、中、高校生、の事であるか。</p>
事務局	<p>現状考えられるその他の対策については、アイデアベースであり、現状まだ何も決まっていないものである。</p> <p>例えばであるが、吉田委員が前回退任をされた時に、地元の子が地元の会社で働いてほしいという声をいただいた。</p> <p>実際に地元の子どもたちをどうやって自分たちの地元の会社に就職してもらうかというところを考えた時に、小学校なり中学校なりそういったところで、企業の事を知ってもらえる機会がそもそもないと、ずっと関わりがないまま終わるのではないかと思う。</p> <p>そのようなことを考えた時に、協力していかなければいけない分野としては、学校のカリキュラムなど諸々調整が難しい部分があるが、もし実現できるとすれば教育委員会と連携をして、例えば授業の一環で職場見学ツアーを受け入れてくれる企業がいるというのが前提なのですけれども、そういったところの調整も将来的には考えられるのかなというところでアイデアとして挙げさせていただいている。</p>
丹野委員	<p>私も企業合同説明会というのはすごく良いと思ったが、一方で説明会するので来たい人は来てくださいというよりは、（言葉を変えると強制ではないが、）学校でこれから就職を考えそうな中学校や高校等の教育の一環として、戸田市を支えている地場産業の建設・運送・印刷等の職場見学などを授業の一環にして、地場産業の教育の延長として、その先に地元で働くというのは良いものだというような教育ができれば良いと感じた。</p>

事務局	<p>一応、今現時点であるが、市内の企業が市民の方に自分の会社をPRする場とすると、今商工祭が今月の21、22日にあり、今回初めての試みで、戸田のSDGsパートナーのパネル展示をやる事にした。</p> <p>パートナーになった方は、自分たちの企業がどのようなSDGsに資する活動をやっているというところを、パネルで外に出していくチャンスとなる。</p> <p>実際に商工会と共同連携で、動画の製作も無料でできるというところをやっており、ちょうどニッケンホールディングス様が動画第一号で作っていただいて、パネルの中に動画のQRコードを埋め込んである。訪れた方がそのニッケンホールディングス様の動画、ないし他の方はホームページのQRコードであるが、それを見ていただく事によって、市内の小さい子どもから大人の方まで、その企業がどういう取り組みをしているのかというところが、来場者にわかるようなPRする場を今回設けてみたので、パートナーになっていただければ来年ももしあれば企業のPRする場というのは中々少ないかと思うので、併せて活用していただければと思う。</p>
黒井委員	<p>今回から参加させていただく中小企業同友会の黒井である。</p> <p>今の丹野委員のお話しすごく理解できる部分があり、同友会の活動の一環と私たちの会社の活動2つの話しをさせていただきたいのだが、やはり今中小企業同友会の共同求人委員会というのを作っており、私も来年から参加するのだが、そこでやっている活動がちょうど今月の7日の日にも大宮ソニックシティで、合同求人の説明会をやったのだが、正直大学生とか20社エントリーして30人ちょっとしかいなかった。我々は中小企業同友会を頼るしかないかというところで動いている。</p>
黒井委員	<p>先ほどの丹野委員の話すと、事務局の最初の説明がぴったりかと思ひ、企業だけでこういう企業であるとやっても、求職者と結びつく人がいないのである。</p> <p>この間は、私は参加していないが、鳩ヶ谷高校の1年生の授業に参加させてもらって、最初はいきなり企業の話をするよりも地元の企業というのはこんな風にやっているのだよ、「働かって何」というのを授業の時間を借りて、みんなでグループワークのようにしてやらせよう。</p> <p>そこで、コロナ明けて東京に仕事の為に通わなくてもこんな企業が地元にはあるという話をさせてもらって、非常に好評だったという話を聞いている。</p> <p>大学4年生もしくは専門学校生であれば専門学校2年生だとか高校3年生というところにフォーカスしても、なかなかスピード感が追いついていかないと感じる。教育の一環として中に入ってくるとまた全然違うという印象を最近受けている。</p>

黒井委員	<p>一方で、企業が今やっている事という事で、私たちは、（商工祭にも出店しているが、）20年間、小学校の校長先生から許可をいただいて、400名位夏休みの工作教室をやっている。昔は、廃材を使っていたのだが、今は廃材が手に入らない。工作キットをこちらで買って実施しているが、お子さんたちというのはトンカチでたたくというのを知らないのである。トンカチって何と言うのである。釘も知らないのである。あえてトンカチで痛いという思いをさせて、木にふれるという目的でいる。</p> <p>それをうちも22年目私たちの先代の経営者からやっていて、本当にありがたいと思ってしているのだが、その時にトンカチでたたいてくれた子どもたちが、「トンカチの会社だ」とうちに来てくれる人が何人かいた。</p>
黒井委員	<p>最終的にはうちも家を建てる時にビジネスになればいいと思うのと、目に見える形で地域振興をしていこうというので、正直工作キット400個買うのは大変だが、人を動かさなければいけないし、大変だがやれる時まではやろうという事である。</p> <p>そこはすごく結びついているので、どこをフォーカスにするかだが、やはり就職するそれぞれ最終年学期の形にフォーカスするよりも、もう少し裾野を広げてやっていくと、地場産業を知ってもらおうという事にはつながるのではないかと感じている。</p> <p>今の若い人達が仕事に求める事はお給料でもないし、一番は休みだが、うちも建設業本当に大変である。のちほど話をするが、やはりでも追い風もあり、コロナの前は希望者が1人も来なかったが、最近は結構来るようになり、今の人たちは悟り世代といわれるが、要するにどこへ行ってもお金に興味がないから近い方がいいという行動パターンと、コミュニティを広げないという考え方がすごく強いので、地場産業に関してはすごく前向きにとらえるとすごくいいのかなというのは毎日肌で感じている。</p>
結城会長	業務活動と事業者の方が連携して何かできると面白い。
黒井委員	一企業が何か行動を起こそうとしてもなかなかハードルが高い。
富岡委員	<p>それで言うと違う角度ですけれども、どちらかという、コロナで会社に行かなくなったという感覚があり、地元で何かするというとか、バイトとかも都内に行くのではなく、近くでなんでも探そうとするというのが結構ある。</p> <p>昨年くらいから地元の企業にお願いして、見学に行かせていただいている。</p>

富岡委員	<p>今年の夏も3人の子どもたちとボランティアで中学生の子たちがついてきてくれて、今年は印刷会社に行かせていただいたのだが、地元にこのような会社がある、戸田市の地場産業は印刷である、という事を知らないのである。中々触れる機会がないので、私も小学校の時にそんな事言われた記憶がないなと思いながら、実際自分たちが住んでいる町が実はこれだけ大きな産業があって、就職することができるという認識はない。</p> <p>中学校の時に3DAYSとかはあると思うのだが、3DAYSではなかなか工場とかには行けない実際に行ってみて、見学させてもらうのも子どもたちの就職という面ではよいのではないかと感じる。実際子どもたちにいくつか質問させた時に、ここ給料いくらであるかとか。働くということに対して、すごいリアル。こういうところで就職もいいのではないかと感覚、子どもたちの中に潜在的にあるものを植え付ける。</p>
安田委員	<p>その時に重要なのが、会社、企業側が受け入れ態勢というか職場アップはすごく重要だと思っていて、二人の会社の形になるのかもしれないであるが、中小企業とか小規模事業者だと、見てもらった時の設備面だったりとか働き方の制度だったりそこも課題になってくるので、両方とも一緒にやって、企業としても魅力アップ、今の若い方に合わせたのではないですけども、そういった事も必要かと思う。</p>
富岡委員	<p>子供たちと印刷会社に行ったとき、外から見ると「工場」だが、中に入るとすごくきれいだった。工場のイメージが変わると思った。</p> <p>受け入れてくれた会社さんが、工場見学を行ったのが初めてでどうしたらいいのかという感じだった。大きいパネルとかを用意して下さったのであるが、子どもたちに説明をする時は、大人が企業同士で説明する時とはまた違うので、わかりやすく説明する、とか。そういったところかもしれない。</p>

事務局	<p>今の工場見学というところの補足なのであるが、今日皆様の手元にはないが、戸田市の方で工業見える化事業というものもやっており、こちら元々は住工混在というところで、工業地域にもマンションがどんどん建ってきている中で、そこに住む住民が、この工場はいったい何をやっているのだろうという事がわからないと怖いというところもあり、住工混在の対策ではないが、こちらに申し込んでいただきますと見える化プレートというものを実は渡している。企業の看板として我々の企業は実はこんな事をやっているという看板を無料で今作っており、今だいたい100社くらい持っていて、中には工場見学も受け入れ可能な会社が記載されていたりする。</p> <p>我々の方の課題としてはこういう事業をもっと周知をして、使っていただいで、子どもたちにも学校単位じゃなくても、もしかして企業によっては受け入れてくれる可能性もあるので、例えば会社側はもちろんそうであるし、子どもたちの目に触れるところでも配布をして、「工場見学可」と書いてあるというところなのでぜひ行きたいという意見もいつか吸い上げられるような仕組みができれば、なおよいのかなと思っている。</p> <p>ちなみにこれは皆さんご存知か。</p>
丹野委員	<p>看板を見ますよね、町を歩いていると工場に「匠」と「誇」の文字があって、看板はよく見る。</p>
事務局	<p>これ実は、無料なのである。10年以上やっている事業である。</p>
委員	<p>ニッケン様とかあった気がする。</p>
事務局	<p>ニッケン様はあったらどうか。大同機工様はある。</p> <p>そこの東京中日の表に出していただいでいて、このプレートがあると「おっ」と思ってもらえたりするので、こちらの周知の課題だと承っている。</p> <p>事業が10年以上続いているというのは、割といい施策というか、その部類なので、ぜひ活用していただきたいと思っている。</p>
丹野委員	<p>立派な素材の看板ですよ。</p>
事務局	<p>アルミの雨に強い素材でできていて、特殊な印刷でシールを貼っているようなイメージである。</p> <p>メインはやはり製造業の方、この工場で何を作っているのだろうというところと、それ以外の一種サービス業も使えるというところになっているので、もし興味があれば、周知の方でもご協力いただければありがたいと思う。</p>
会長	<p>その他、何かあるか。</p> <p>ないようなので、次の議題に移らせていただく。</p>

会長	<p>それでは、続いて、「今期のテーマと会議の進め方について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>「今期のテーマと会議の進め方について」、事務局より説明</p>
	<p>本日のメインテーマという形になる。</p> <p>前期から委員を継続された方が大半になるが、前回会議でお示した今期のテーマ案から内容が若干修正されております事の説明からさせていただきます。</p> <p>前期最終回において、今回の会議テーマ2年間で「とだSDGsパートナー制度の進展」を軸にお話させていただいたが、今般の景気動向調査結果を踏まえ冒頭でも市長からお話がありましたとおり、市長にも報告差し上げた結果、市長より「2024年問題はいま一番考えなければならない課題」の1つだとお声をいただいた。さらに、「地場産業を守っていくために何ができるのか」というところでぜひ研究テーマとしてしっかりやってほしいとのご意見があった事から今回、前回お示したパートナー制度も少し関連をつけてはあるが、今回はPowerPointにお示しをさせていただきました「地場産業と2024年問題」を主軸に、専門委員の皆様の知見を頂戴しながら様々な角度、視点から良い施策につながるヒントを得られればと思っておりますので、前回から変わりましたという説明になる。</p>
	<p>それでは、お手元のテーマ案の資料説明に入らせていただく。</p> <p>資料の中に「SDGsパートナー制度」という図の中に大きいくりで入っているが、これは、各機関等とのパートナーとして連携して解決していくという意味合いで入っているので、大きいくりは連携していきましょうという意味で捉えていただければと思う。</p> <p>今期のテーマの主軸はあくまでも「地場産業等を研究対象として2024年問題を考え、企業が持続可能となるための支援を研究する」としている。</p>

<p>事務局</p>	<p>ここで得られた知見が施策として昇華した場合には、その他市内事業者にもフィードバックし、市内事業者の持続可能な企業経営の実現につなげていければという連携図になっている。</p> <p>今回のポンチ絵の中で、「雇用・人材確保」と「事業承継」と2つ分けているのは企業の持続可能な経営というところで、経営者と従業員の視点で分けているためである。雇用・人材確保支援の枠の下に小さく<3プロ>シニア活躍と書かれている部分については、PowerPointスライド2枚目、用語説明の中の下から2番目、上から3番目にあります3プロ、3大プロジェクトという説明があり、そちらをご覧いただきたい。こちらは市長公約とは別にあり、市が特に力を入れている重点分野で、経済戦略室は とある中の の中の「シニア活躍推進」のところで、シニアの就労についての所管もしている。そのため、今後会議の中で雇用を議論する際には、シニア雇用の視点も交えてご意見をいただけたらと思っている。</p>
	<p>続きまして、各会議の進め方というところを説明させていただく。資料の裏面の上部に「各会議の進め方のイメージ（全体）」と書かれている。皆様の任期は2年間となっており、1年間に会議は3回程度としているので、実質的には今日を除いてしまうと最終回まで5回程となる。最終回については2年間で皆様からいただいた知見・ご意見等をまとめて市長に可能であれば提言という形で提出をするというところを目指していければと思っている。それに加えてこの振興会議の大元の計画になっている経済戦略プラン、お手元にある冊子になるが、これが令和7年度でいったん改訂、4年間の計画が終わりになる。それに向けて見直しを図るという作業を入れ込んでいく必要があるため、会議が進んできたら戦略プランに対して、今まで皆様関わってきた中でこういう指標にした方が良いのではないかと、施策が多すぎるのではないかと等、ご意見をいただく時間の方も設けて行こうかなと思っている。</p>

	<p>その際に今まで振興会議でどのような意見が出て、どのような話し合いをしてきたかが分からないと思うので、皆様のお手元に別資料で振興会議の今までの経過をお渡ししている。これには、振興会議が走り出した当初から昨年度に至るまでの概ね話し合っていたものの抜粋と、提言に至らなかった場合は各会議で委員さんからの意見がざっくり概要で書いている。今までの内容として多かったものは、やはり「観光」という部分で、道満グリーンパークの使い方とか、こういう施策はどうかとか、観光協会はどうだったのだろうかとかいうそういったご意見をいただいていたようなので、なるべく過去に出たご意見を参考にしながら議論していく方が効率的だと思うので、そちらのご参考で見ていただいて、何かのヒントになればと思う。</p>
	<p>会議の進め方でもう1つ説明になるが、回数がそんなに多くないので次回1月頃を目途にまずは雇用の関係でお話をさせていただく。それぞれ雇用については1回、2回設けて令和6年度の第2回からは事業承継という形で話し合いを進めていきたいと思っている。ただ委員の皆様におかれましては、では何を話し合うのかというところでまだ掴み辛いというところもありますので進め方としましては市の現状、こちらの方から説明をさせていただきまして、同じように現施策の説明をさせていただく。そこで、問題提起という形で、こちらからこういうところが困っていますので皆様の知見をこういうところからいただけませんか、というところで問題提起をさせていただきますので、それについて皆様のそれぞれのお立場から、こういう考えがあるのではないかと、こういう施策に結びつけたらいいのではないかと、今ある施策と連携したらいいのではないかと、民間だとこういう事をやっていますとか、各機関さんでうちの事業とこういう連携ができそう等、そういったお話し合いを皆様でブラッシュアップをして、事務局側でまとめていくというような事を想定している。</p>
事務局	<p>その場で皆様に問題提起をしても意見をすぐに言うのは、なかなか難しいところもあると思う。会議の日よりも前に事務局から資料をお渡しして、事前にそれを少し見たうえで当日に臨んでいただくというような進め方を検討している。</p> <p>また、最後のページに各委員の皆様にご求めている役割を書いている。念の為、皆様のそれぞれのお立場から色々なご意見をいただければ有難いという事で記載をしているものである。</p> <p>会議の進め方、今後2年間のテーマについての説明は以上になる。</p>
結城会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局からの説明に対し、質問・意見等あるか。</p>
結城会長	<p>今事務局から今後2年間の会議の進め方と、主要なテーマについて説明があった。</p> <p>確認したい事はあるか。</p>

<p>徳永委員</p>	<p>研究テーマについて1個引っかけるところがある。それは地場産業、運輸業と建設業と、具体的に出ているが。製造業を入れてほしかった。また、この2つの業種を力を入れていくようで、さっき景気動向調査A3のをみた時にこの先の悪化指数っていうのが製造業が一番厳しいのではないかと見ていて思った。改善というか、赤字の数字はマイナス幅が大きいという事がやはり、一番厳しいのではないかと思う。建設業をみると先行きは、ゼロである。ということは、すごく良くなっているという数値になっている。建設業がすごくこの先がいい。製造業はマイナス32.56%、小売業は51.72%ではないか。そして運輸業よりも製造業の方が悪い。製造業も一番市内で多い業種ではないか。建設業よりも多いと思う。ここをなんとかしないと製造業は総倒れになる。だからこのテーマの所に製造業も入れてほしいというのが、希望である。</p>
<p>事務局</p>	<p>事務局から補足というか説明をすると、全く製造業に対して話をふれないという訳ではない。あくまでも全業種に対しての、話し合いというのは難しいと考えていて、話をしやすいように絞っているというところはある。今回の主要テーマというのは、雇用の方を考えるという話にしている。実際に雇用という話を皆で話をして、これだけいい施策が出たという事になれば、それは製造業に対してもそのまま適用できるという話だと思ってもらえれば有難い。今回は特に、2024年問題で問題になっている業種を対象業種に、実証実験ではないが、ここに絞って考えてみようという話なので、運輸業と建設業が先ほど冒頭で私の方で伝えた、関連法案の改正で、来年の4月から猶予期間がなくなるといところの業種を元に、雇用について話し合ってみようという事になった。</p>
<p>事務局</p>	<p>実際この図で、見てもらうとわかるが、運輸と製造業を、対象を絞って雇用について考えてみようという話になっている。実際にここで右上の方に、中小企業振興会議という枠があるが、雇用に対してこういう施策が生まれたと、考え方があったという事ができれば、市内企業への応用という形で、振興会議から雇用に対してこういう施策が出たという事で、市内企業にフィードバックをしていくという連携を考えている。雇用で考えた時に、例えば運輸業だからこういう雇用を考えなければいけないとかそういうくくりではなくて、あくまでも話しやすいように地場産業と2024年問題に関係のあるこの企業を、1つの考え方のきっかけにしていきながら、会議の方を進めたいと思う。話し合っている中で、例えば、製造業だとかこういう事が考えられるのではないかとこの事があれば、それを話し合うのは、問題はない。ただ資料として示す、2024年問題で地場産業として見せていくという事になった時に、あくまで図の中にこの2つの業種をあえて入れているので、製造業を話し合わないというものではない。</p>

結城委員	<p>特定産業に肩入れする訳ではないという事でよいか。</p> <p>ちなみに市内の教育機関や研究機関も、対象に入れてもらえるのか。</p>
事務局	<p>もちろん話し合い中でのそういった機会があればどんどん自由に話し合っ、例えば、ゲストスピーカーとかこういう業種で、ぜひ呼んでくれないかという声があれば、ちょっと探してみるという約束しかできないが、そういった要望もあればいいかと思う。</p> <p>もう少し回数とか皆の都合があえば現地に訪問をして、実際に何かを見るといいう事も不可能ではないが、その辺は自由な発想でこうしたらもっといい施策が生れるのではないかとという視点で、いろいろ意見をもらえればと思っている。</p>
結城会長	<p>人材不足というのは色々な業界での人材が不足しているのだと思う。業種が産業によって求められる人材がかなり違うと思うが、私が今非常に憂慮しているのが、県内の大学で育成されている人材というのが、非常に日本人比率が下がってきているという事があって、特に、修士号・博士号は、8割以上が留学生の状況なので、専門的な人材を育成するという意味では、戸田市内で育ってきた子どもたちに、専門的な教育を受けるチャンスをもっと与えてほしいと思っている。</p> <p>今、円安で日本の大学と生活費は国際的に見ても激安なので、これからどんどん留学生が増えてきて、日本人は押し出されていくと思う。こういう中で、人材確保はますます難しくなっていくし、大学の研究者もおそらく確保できなくなっていくのではないかとと思っているので、市内の事業者に限定すると難しいのかもしれないが、そういう視点も入れて考えてくれると嬉しい。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p>
結城委員	<p>今、徳永さんから発言があったA3の縦の資料で、運輸業が非常に見通しが暗いというというのは、戸田市内の事業者のアンケート結果という事か。</p>
事務局	<p>そうである。説明が漏れてしまったが、景気動向調査がどういうものか、対象者がどれくらいいたかという説明が当初抜けていた。700社の企業に対して無作為抽出で出していて、前回回答した企業は続いて回答するような仕組みになっている。</p> <p>今回は700分の200社が、回答があったというところになる。</p>
結城会長	<p>それで日本銀行の調査、全国調査と比べて非常に見通しが暗い数字が出ている事に少し驚きまして、戸田市内で何が起きているのかという事を聞きたい。</p>

事務局	正直にいうと、まだそこまで我々も考察が至っていない。今言われた日銀の短観もそうだし、県の方でも調査をやっているが、そことの比較をもう少しみていかなければいけないと思っているが、現状としては、ようやくこの動向調査も安定してきている、そういった段階で試行錯誤している状態で、そこにはまだ至っていない。
事務局	逆に結城先生からも、例えばこういうデータと比べると面白いのではないかと、我々も知らないデータとか統計もあったりするので、こういうものを情報提供してもらえると、事務局としても有難い。
事務局	どうしてもRESASの調査でいくと、数年おきの調査になってしまうので、動向調査は半年ごとにやれるが、それ以外は何年か前のものであるので、そういった指標があれば、我々としても参考になると思う。
今井委員	データの件でいうと、個々のお客様、小規模事業者様に対してもデータを取ると市で出ている状況で、日銀の短観と比べると、確実に数字は悪くなっている。日銀の短観で見るとプラスで今推移していると思うが、私どもの方で、全国の小規模事業者を対象に同じようなDIを取るとまだまだマイナスなのである。 同じ事業者のトレンドで見ると、コロナ禍はもっと低かったのが、マイナス幅が解消して持ち直しているとか、何年か前にやった時も同じ - データで見ると、小規模事業者も持ち直しているというデータも出ているので、戸田市も横のトレンドを見た時にどうなっているのかと見ると、市の状況などもわかってくるのかと思う。
事務局	ありがとうございます。
結城会長	今後の進め方について他の委員からも何かあるか。

松井委員	<p>少し前の話に戻るが、2024年問題の事で、県の方でどんな施策をしているのか、軽めに調べた。先ほどの教育の関係でいうと、教育委員会ではなくて、県の都市整備部が、県が発注した工事現場を工業高校の生徒に見せるという取り組みがやっている。この辺はもしかするといったん情報もらえれば少しアレンジができると感じた。</p> <p>それから運送業者については、昨年度の補正で、燃料価格の高騰に対してのものがでたりするが、雇用対策について、業種別の求人会というのは今迄なかなかできていなかったようなので、ターゲットを絞るというのは今後業種を絞って、この業種に関心がある事をやっていくのがいいのかというのが見え隠れする。</p> <p>例えば、2024年問題を経緯として、物流業界向けの説明会を始めてやったらしいが、そのようにターゲットを絞る、やるにしてもどうやってターゲットを絞るのか今後考えていくのも一つなのかと思った。</p>
事務局	松浦委員からは何かご意見あるか。
松浦委員	(オンラインで)聞こえにくいところがあってついていけないところがあって、今回は差し控えさせていただければと思う。
結城会長	私から委員に聞きたいのだが、各大学にインターンシップ制度を設けていて、企業、事業者に訪問して、就職活動や就労関係の体験の学習を学部にてやらせてもらっているが、そういう制度は利用した事がある人がいたら、ぜひ紹介してもらえると、大学としてもやりやすいと思う。
徳永委員	私のところに県内の大学生がきた。
結城委員	学生の仕事に対する理解や、社会人になる意識の向上などに結びつくようなものがあるといい。
徳永委員	あれは単位を取るためにやっているのではないか。
黒井委員	<p>皆と同じでどこまで学生が本気なのかわからない。今年度新卒が1人いるが、ものづくり大学の2年生の時に、インターンシップで以前からきていた方が採用になったという。実例がある。</p> <p>逆にインターンシップをお願いしようと大学とへ行くと、大学の就職課の担当は比較的ぜひという話になるが、学校の大学教授とか各担当の先生方がイメージする製造業・建設業と差があるのか、外からいくと入り辛い印象がある大学があった。2校経験していて、それこそ中小企業には、きついという印象を受けた。</p> <p>企業と学科の中でOB会が出来上がってしまっていて、非常にインターンシップをお願いしにくい印象を受けた学校もあった。</p>

結城会長	<p>貴重な意見ありがとうございます。参考になる。</p> <p>おそらく単位を取るために行っているというのは授業のカリキュラムの設定がうまくいっていないと思う。</p> <p>入りにくいというのは研究室の特性があるのかもしれないが、私が今年県内事業者、事業団体の授業をお願いして、各団体の方から1時間ずつ事業の紹介をしてもらい、そのあと皆でワークショップをして、インターシップに繋げるといいうやり方をやっていて、そのように説明とディスカッションをインターシップを組み合わせると、それなりに面白く仕事に向き合ってくれるかと思っているので、色々なやり方を模索していきたい。</p>
結城会長	<p>その他、何かあるか。</p> <p>ないようなので、この議題は終了する。</p> <p>本日のすべての議事が終了したので、会議の進行は事務局にお返しすることとする。</p>
事務局	<p>それでは、これをもって令和5年度第2回戸田市中小企業振興会議を閉会とする。</p>
	閉会